

## 「気候非常事態」に関する決議

世界の温室効果ガスの排出量は、今も増え続けている。そのため地球温暖化の進行に伴い世界各地では記録的な高温や豪雨など異常気象が頻発し、多くの被害が発生している。熱波による干ばつや森林火災、海面上昇は世界の島々を脅かし、巨大台風の発生はより高頻度になっている。

日本でも、これまでに無い猛暑や、巨大化した台風、集中豪雨など、各地で気候変動による異常気象が起り多くの被害が発生している。

わが市は千曲川の大河に抱かれ、四季を通じて豊かで美しい自然と景観に恵まれている。この自然に恵まれた市を、私たちは次の世代につないでいかなければならない。環境の行方は若い人たちに重くのしかかっている。過去に責任を持つ私たちは今こそ真剣に考えていかねばならない。

本市は災害の少ない市として知られてきた。しかし令和元年10月の台風19号は、穏やかであった千曲川を一変させ最高水位は氾濫危険水位の5mを1.4mも上回る6.4mに達し甚大な被害となり、貴重な財産や市民の平穏な暮らしが奪い去られてしまった。

地球温暖化に起因する気候変動は、世界中で危機感が広がり新たな枠組みである「パリ協定」が採択された。オーストラリア・デアビン市から始まり、現在は世界で1,200以上の自治体が、「気候非常事態」宣言を行い日本でも長野県などが宣言をし、脱炭素化を目指す取り組みが始まっている。

本市にとっても極めて深刻な脅威であり、雄大な千曲川の恩恵を受けてきた本市だからこそ、人間の生活や経済活動で排出される二酸化炭素などの温室効果ガスをできる限り減らし、市民と共に気候変動に対して行動を起こさなければならない。

よって本市議会は、温室効果ガス排出量“実質ゼロ”を目指す運動を市民一体となって推進していくため「気候非常事態」を宣言することを強く求めるものである。

以上のとおり決議する。

令和元年12月19日

千 曲 市 議 会